

事務事業名		志布志市文化会館管理運営事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度						
				担当係	生涯学習係						活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)				
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	1	10	4	7	備考	ア	開館日数	日	310	310	310	310	310	310			
		(個別目標)	2	多様な志を育むまち	主な費目	指定管理料、修繕料、建物共済保険料、旅費				イ												
		(施策)	1	生涯学習の推進	対象	市民				成果指標 (成果・効果)				単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
		(基本目標)	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	事業期間	H28 年度～ 年度 (年間)				ア				施設の利用回数	回	1,500 991	1,500 1,047	1,500 1,312	1,500			
		(施策)	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト		イ	利用者数	人	55,000 19,647	51,700 30,550				48,600 47,484	48,600	48,600	48,600	48,600	48,600			
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価													
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	所管課による評価												
		その他特定財源	千円																			
		一般財源	千円	23,012	23,012	24,532	25,570	25,570									25,570					
		事業費計 (A)	千円	23,012	23,012	24,532	25,570	25,570									25,570					
		所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100									0.100					
		人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	560									560					
	(A) + (B)	千円	23,572	23,572	25,092	26,130	26,130	26,130														
(2) 事業概要										効率性 評価	市民の方々が安心して使用できる状態を継続できている。											
事業目的	文化施設の管理業務を民間団体に委託・管理させることにより、民間のノウハウを活用しつつ、より一層の市民サービスの向上と経費の節減を図る。																					
事業内容	文化会館の文化ホール・集会室等については、その設置目的に基づき、効率的、効果的に管理・運営を行う必要がある。それらの管理運営業務を指定管理者に委任する。但し、自主文化事業の企画・実施、舞台関係の操作管理業務は除く。																					
開始経緯	施設の管理は、平成18年8月まで、志布志市公共施設等管理公社へ管理委託していたが、地方自治法の改正に伴う管理委託制度の廃止により平成18年9月から指定管理者制度へ移行した。																					
実施状況	コミュニティセンター志布志市文化会館 指定管理料 円 指定管理者 特定非営利活動法人志布志生涯学習センター								達成度 評価	市民の方々が安心して使用できる状態を継続できている。												
成果	指定管理者制度の導入により、事務の簡略化、時間外での対応、迅速な施設修繕等を行うことで、文化施設利用者の利便性、安全性が向上している。																					
課題	施設の老朽化が進んでおり、年次的な改修（リニューアル工事）計画及び実施について、公共施設の個別管理計画により進めていく必要がある。								改革改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了												

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		舞台吊物音響照明操作等委託事業					担当課		(3) 指標の推移												
							生涯学習課		生涯学習係				活動指標 (実施状況)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
							担当係	会計	款	項	目	備考	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
							予算科目	1	10	4	7		ア	3施設の舞台(ホール)利用回数	回	500	500	500	500		
							主な費目	委託料					イ								
							対象	3施設(文化会館、ふれセン、有明地区公民館)の利用者					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
							事業期間	年度～年度(年間)					ア	施設の利用回数	回	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
													イ	利用者数	人	991	1,047	1,312			
																55,000	51,700	48,600	48,000	48,000	48,000
																19,647	30,550	47,484			
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価										
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 専門的な知識・資格を有し実績のある業者は市内には他になく、設備管理、舞台運営を円滑に実施しているため、向上の余地はない。 施設の運営には不可欠な業務であるため、廃止はできない。 受注業者は市内に一者しかいないため、随意契約となっている。仮に市外の業者に委託した場合、契約金額が高額になる可能性が高い。											
年間トータルコスト	事業費	国県支出金	千円																		
	財源内訳	その他特定財源	千円																		
		一般財源	千円	6,735	7,309	8,496	9,179	9,179								9,179					
		事業費計 (A)	千円	6,735	7,309	8,496	9,179	9,179								9,179					
	人件費	所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050								0.050					
		人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	280								280					
		(A) + (B)	千円	7,015	7,589	8,776	9,459	9,459	9,459												
(2) 事業概要																					
事業目的	舞台吊物音響照明操作等の専門業務を委託することにより、安全かつ適正な操作及び施設の管理を行うため、専門業者に委託する。										効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携 委託している業者は、当該施設の舞台装置の操作等に精通しており、技術力も高い。近隣の自治体で同等の類似施設を受託している業者の委託料と比較して、安価であるため事業費の削減は困難である。 委託契約業務のため、人件費及び業務時間の削減の余地はない。									
事業内容	文化会館等の舞台吊物音響照明等の操作業務を、専門的な技術をもつ業者に業務委託する。(志布志市文化会館・やっちくふれあいセンター・有明地区公民館の3施設)																				
開始経緯	合併前は、志布志市文化会館の1施設のみ管理運営体制であったが、現在は、3施設を1人常駐と補充者で運営している。3施設でイベント等が重なった場合、大がかりな仕掛けが必要な場合等には、物理的に人員の補充が不可欠となる。										達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間 設備の適正な管理を行うことで、利用者からの要望に適切に対応し、各種文化事業、集会等を円滑に実施することができた。									
実施状況	志布志市文化会館、やっちくふれあいセンター、有明地区公民館の3施設に対して舞台吊物音響照明操作等の専門業者1人を常駐とし、催物が重複した場合は従事者(有資格者を含む)を補充した。																				
成果	設備の適正な管理を行うことで、利用者からの要望に適切に対応し、各種文化事業、集会等を円滑に実施することができた。										改革改善案	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 効率化	<input type="checkbox"/> 廃止終了					
課題	設備(照明、音響機器等)の経年劣化のため、舞台等の事業実施中に不具合が発生する可能性が危惧されており、機器の更新をする必要がある。																				

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志市文化協会運営支援事業		担当課	生涯学習課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	生涯学習係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	
まちづくりアソシエーション (基本目標)	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち		予算科目	1	10	4	5		ア	文化祭等の開催	回	4 0	4 0	4 4	4 4	4 4
(個別目標)	計画体系	2	多様な志を育むまち	主な費目	補助金					イ								
(施策)	体系	1	生涯学習の推進	対象	市民					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	総合戦略	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	事業期間	平成19年度～ 年度 (年間)					ア	市文化協会会員数	人	900 785	900 663	900			
(施策)	戦略	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト		イ	市文化協会の加盟団体数	団体	105 88	105 84	105 79								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価							
年間 事業費 タ ル コ ス ト	財源内訳	千円	(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	文化協会の会員が高齢化しており、地域の芸術・文化振興を担う人材育成の観点から新規団体の加盟及び会員の加入促進が必要である。 廃止・休止の場合、文化協会の活動の鈍化し、地域の文化芸術が衰退する可能性がある。 文化協会の類似団体は市内には存在しないため、統廃合は困難である。 各支部に配分する運営費について、会員数を基に分配しており、公平である。							
	国県支出金	千円																
	その他特定財源	千円																
	一般財源	千円	400	0	996	996	996	996										
	事業費計 (A)	千円	400	0	996	996	996	996										
	所要人員 (年間)	人	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200										
人件費概算 (B)	千円	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120											
(A) + (B)	千円	1,520	1,120	2,116	2,116	2,116	2,116	効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	平成28年度に旧3町の文化協会が合併し、平成29年度から志布志市文化協会が発足した。今後は、事業の見直し(研修、広報誌の発行等)を実施するが、運営費の依存が高く、事業費を削減することで文化協会の活動の鈍化し、地域の文化芸術が衰退する可能性があるため、削減の余地はない。 補助金支給事務及び市文化協会の活動支援を行っており、削減の余地はない。								
開始経緯	18年1月の合併以前は、それぞれの地区(松山、志布志、有明)の文化協会の活動があったが、それらを調整・統合するための組織が必要となったので、20年3月に連絡協議会を設立した。																	
実施状況	本市の芸術文化の振興を図るため、文化団体に加入している会員が文化芸術活動に積極的に取り組むとともに、各支部文化協会の相互の交流を図った。																	
成果	市総合芸術祭、各支部文化協会による文化祭等を開催する予定であったが、コロナウィルス感染症の影響により開催できなかった。																	
課題	会員が高齢化しており、組織運営及び芸術文化の技術継承のために新規団体の加盟及び会員の加入促進を図る必要がある。																	
改革改善案	拡充		○ 現状維持		改善		効率化									廃止終了		

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		自主文化事業		担当課	生涯学習課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	生涯学習係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
まちづくりアソシエーション (基本目標)	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	1	10	4	5	備考	ア	開催回数	回	1	2	3	3	3	3
(個別目標)	計画	2	多様な志を育むまち	主な費目	委託料					イ									
(施策)	体系	1	生涯学習の推進	対象	市民					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)		
(基本目標)	総合戦略	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	事業期間	昭和52年度～年度 (年間)					ア	入場者数	人	600 379	1,200 0	1,200 3,200	1,200	1,200	1,200	
(施策)	戦略	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト								イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価								
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	有効性評価 ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 公演内容（講演会・コンサート等）の選考、広報活動の強化することで、更なる成果の向上も期待できる。廃止・休止の場合、市民の質の高い生の芸術文化（講演会・コンサート等）を鑑賞する機会の喪失し、地域の文化芸術が衰退する可能性がある。類似事業を行っている団体・機関がない。市内全域に周知活動を行い、チケットも同一金額で販売していることから、公平である。		効率性評価 ・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携 事業費の削減した場合、公演内容（講演会・コンサート等）の質が低下又は公演回数の減少するため、削減の余地はない。公演等の調査、アーティスト等の選定、プロモーターとの契約等の外部委託できない業務を行っており、削減の余地はない。								
年間トータルコスト	事業費	千円																	
	財源内訳	千円																	
	国県支出金	千円																	
	その他特定財源	千円	858	296	7,571	7,360	7,000	7,000											
	一般財源	千円	495	2,126	2,577	3,598	4,000	4,000											
	事業費計 (A)	千円	1,353	2,422	10,148	10,958	11,000	11,000											
	所要人員 (年間)	人	0.400	0.600	0.800	0.800	0.800	0.800											
	人件費概算 (B)	千円	2,240	3,360	4,480	4,480	4,480	4,480											
	(A) + (B)	千円	3,593	5,782	14,628	15,438	15,480	15,480	達成度評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間 予定していた公演をすべて実施することができた。トータル集客率も80%を超えることができた。									
(2) 事業概要																			
事業目的	鑑賞型芸術文化事業等を企画実施し、市民に優れた舞台芸術鑑賞の機会を創出し、市民生活の潤いと心の豊かさを高める。																		
事業内容	コンサート公演、文化講演会、ミュージカル公演等の開催により地域の文化振興や文化意識の高揚を図り、地域の活性化と市民生活に潤いを与える。																		
開始経緯	昭和51年旧志布志町文化会館開館時から開始し、市民に多彩な文化芸術（講演会・コンサート等）に触れる機会を提供することを目的とした事業である。																		
実施状況	(1) 宝くじ助成事業 吉俣良コンサート 11月3日(木) (2) 荒牧陽子&松浦航大 最強 歌マネLive 2月5日(日) (3) 劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」 2月12日(日) (4) 講演会 伊沢拓司講演会 3月11日(土)																		
成果	コロナウイルス感染症拡大防止の規制緩和により、制限なしでの講演を開催した。ソールドアウトする公演もあり、すべての公演において好評を得ることができた。																		
課題	コロナウイルスや社会情勢の変動により、委託料の高騰が危惧される。																		
		改革改善案		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了							

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		青少年芸術鑑賞事業		担当課	生涯学習課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度								
				担当係	生涯学習係					活動指標 (実施状況)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)								
				予算科目	会計	款	項	目	備考	ア	イ	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)								
まちづくりアソシエーション (基本目標)	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	4	5		ア	イ	0	0	0	17	11	11								
(個別目標)	計画体系	2	多様な志を育むまち	主な費目	委託料																				
(施策)	体系	1	生涯学習の推進	対象	市内の小・中学校の児童・生徒					成果指標 (成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)								
(基本目標)	総合戦略	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる							ア	イ	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)								
(施策)	戦略	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト	事業期間	年度～年度 (年間)					事業実施学校数	校	0	0	0	10	11	10								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価																
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価																
年間トータルコスト	財源内訳	千円							有効性評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性 市内の小・中学校を2クラスに分り、2年に1回、芸術を鑑賞する機会を提供しており、回数、日程調整等も適切である。質の高い芸術鑑賞の機会が喪失することで、児童・生徒の感情を育む機会が失われる。国・県主催の類似事業があるが、毎年ではない。国・県の主催事業があるが、鑑賞する学校が限定され、公平性が保持できない。市内の全ての小・中学校で実施しているため、公平・公正である。															
	国県支出金	千円																							
	その他特定財源	千円																							
	一般財源	千円	0	0	0	2,805	1,100	1,100																	
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	2,805	1,100	1,100																	
	所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100																	
人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	560	560																		
(A) + (B)	千円	560	560	560	3,365	1,660	1,660	達成度評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間 芸術鑑賞の機会は、地理的に不利にある状況から、公的に支援する必要がある。より良い芸術に、地方にいても触れられる機会を設ける機会となっている。																
(2) 事業概要																									
事業目的	青少年に優れた舞台芸術鑑賞の機会を与え、芸術に対する興味・関心を持たせることで、心豊かな青少年の育成を図る。																効率性評価	事業費を削減した場合、鑑賞する内容の質の低下につながるため削減の余地はない。事業内容の選定、契約事務等外部委託できない業務を行っており、削減できる余地はない。							
事業内容	市内の青少年に対して、優れた舞台芸術鑑賞の機会を与え、芸術に対する興味・関心をもたせ、創造的な芸術文化の情操形成に資する。																								
開始経緯	健全な心身を持つ児童・生徒を育てため、旧志布志町及び旧松山町が合併以前から実施している。																								
実施状況																									
成果									改革改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了															
課題	新型コロナウイルス感染症の拡大防止																								

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		志布志市文化会館リニューアル事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	生涯学習係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
まちづくりア (基本目標)	振興計 画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 統・文化のまち	予算科目	会 計	款	項	目	備考	ア	工事・修繕箇所数	箇所	0	0	0	1	
		1	10	4	7		0	0									
		(個別目標)	2	多様な志を育むまち	主な費目	工事費、委託料				イ							
		(施策)	1	生涯学習の推進	対象	市民					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
		(基本目標)	総合戦略	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	事業期間	平成21 年度～ 年度 (年間)				ア	利用者数	人	55,000 19,647	51,700 30,550	48,600 47,484	48,000
(施策)	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト							イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価						
年間 トータル コスト	事業費 人件費	財源内訳	国県支出金	千円						有効性 評価	市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	施設の利便性及び安全性の向上を目的に事業を実施するための改修工事であるため、向上の余地はない。施設の不具合等が改善されず、利用者の事故等につながる可能性がある。当該施設の改修・改善工事であるため、類似事業はない。改修・修繕工事を行うことで、利用者全てに恩恵があるため、公平である。					
		その他特定財源	千円														
		一般財源	千円	0	0	0	19,412	0	0								
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	19,412	0	0								
		所要人員 (年間)	人	0.000	0.100	0.100	0.100	0.100									
		人件費概算 (B)	千円	0	560	560	560	560	0								
(A) + (B)	千円	0	560	560	19,972	560	0										
(2) 事業概要																	
事業目的	志布志市文化会館の設備に不備がある場合、適宜、修繕等を実施することで安全かつ適正な施設の管理ができる。																
事業内容	志布志市文化会館は、築46年を経過し、建物や設備等の更新・改修の箇所が緊急的なものを含め多く発生している。19年度に基本計画を策定し、21年度以降、ホール棟・管理棟において各種の増設、改修等工事を行っている。今後の工事としては、ホール天井耐震化、ホール内の座席取替が残る。																
開始経緯	昭和51年5月に開館して以後、施設の老朽化により不良箇所が発生している。また、当会館は旧来の構造であるため利用者のニーズに応えるには、ホール内の仕様改良・バリアフリー化・駐車場不足解消等の改修が必要に迫られている。このほか、ホール棟の耐震強度の観点からも補強工事(天井部)が必要であることが判明した。																
実施状況																	
成果	○ 拡充		現状維持		改善		効率化		廃止終了								
課題	令和3年度から、ホールの雨漏りが発生し天井裏にバケツ等を設置し急場を凌いでいる状況である。イベント利用や台風等の避難所として指定されていることから、雨漏りにより水を含んだ天井の石膏ボードが落下する危険性があり、緊急に防水対策を行う必要がある。																
	改革改善案																

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		創年と子どものまち宣言事業（創年市民大学開設事業）		担当課		生涯学習課					(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度														
				担当係	生涯学習係					活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)													
まちづくりアソシエーション （基本目標）	振興計画	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	会計	1	10	4	4	備考	ア	講義・講演数（プログラム数）	回	14	15	15	15	15	15													
（個別目標）	画面体系	2	多様な志を育むまち	主な費目	委託料					イ																						
（施策）	体系	1	生涯学習の推進	対象	市民					成果指標（成果・効果）	単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)													
（基本目標）	総合戦略	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	事業期間	平成16年度～ 年度（ 年～ 年間）					ア	市民大学生数	人	94 71	70 58	70 58	70	70	70	70	70												
（施策）	戦略	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト								イ																					
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価																					
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	入学生を増加させまちづくりを学ぶ人材確保に努めるとともに、自主研究グループを中心にまちづくり活動（実践）を推進する。 市民がまちづくりを学ぶ場及び関心の喪失につながり、市が目指す共生・協働・自立のまちづくりの推進が鈍化する。 まちづくりの人材を推進する事業がない。 まちづくりに関心のある人はだれでも受講でき、学生一律の受益者負担があるため、公平である。																					
	財源内訳	千円																														
	国県支出金	千円																														
	その他特定財源	千円																														
	一般財源	千円	1,155	955	1,375	1,375	1,375	1,375																								
	事業費計 (A)	千円	1,155	955	1,375	1,375	1,375	1,375																								
人件費	千円	560	560	560	560	560	560	効率性 評価	・ 事業効果向上 ・ 事業費削減 ・ 事務の効率化 ・ 費用対効果 ・ 財政負担の必要性 ・ 関係者との連携	事業費の削減した場合、カリキュラム内容の質が低下又はカリキュラム回数が減少するため、削減の余地はない。 NPO生涯学習センターと連携して事業を展開し、委託契約事務及び市民大学開講支援を行っており、削減の余地はない。																						
所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100																									
人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	560	560																									
(A) + (B)	千円	1,715	1,515	1,935	1,935	1,935	1,935																									
(2) 事業概要																			達成度 評価	・ 数値目標 ・ 目指す状況 ・ 実現性 ・ 情勢・環境の変化 ・ 事業期間	人口減少が続く中で、講座生を確保できていると思われる。 自主研究グループも立ち上がっており、全国的にも有名な大学となっている。											
事業目的	少子高齢化社会の活性化と市民を主役にした生涯学習のまちづくりの推進を図るために「創年と子どものまちづくり」と「地域学から始まるまちづくり」の2つの「志」を掲げ、「人財(布)」を育む市民大学として開設する。																															
事業内容	創年と子どもの交流により、創年にはこれまで培ってきた経験と能力を活かして子どもに対する指導を通じて生きがいをもたらし、子どもには創年に対する尊厳と地域で生きる知恵を継承する全国初のモデル事業であり、創年市民大学は、市民を主役にした生涯学習のまちづくりの推進を図る目的に開学している。																															
開始経緯	平成16年に旧志布志町で宣言された創年と子どものまち宣言事業の一環として、人材づくりを目的に開校した。																															
実施状況	創年と子どものまち宣言事業の一環として、人材を育む市民大学として、平成16年に開校し、19年目を迎えた。																															
成果	第19期創年市民大学は6月10日（金）に開校し、58人が学生登録を行った。																															
課題	在校生の高齢化と固定化に伴い、活動が停滞しつつある。									改革改善案	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 廃止終了																					

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		生涯学習推進事業		担当課	生涯学習課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
				担当係	生涯学習係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
まちづくりアソシエーション (基本目標)	振興計画体系	5	<教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち	予算科目	1	10	4	4	備考	ア	公募講座数	講座	140 107	140 104	140 97	140	140	140
		(個別目標)	2	多様な志を育むまち	主な費目	委託料				イ	短期体験講座数	講座	20 15	20 9	20 21	20	20	20
		(施策)	1	生涯学習の推進	対象	市民				成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
		(基本目標)	3	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	事業期間	平成3年度～ 年度 (年間)				ア	公募受講者数	人	1,500 1,244	2,600 1,312	2,600 1,290	2,600	2,600	2,600
		(施策)	5	こころざしアップ教育推進プロジェクト		イ	短期体験受講者数	人	200 140	200 78	200 211	200	200	200				
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価							
年間 トータル コスト	事業費 人件費	財源内訳	国県支出金	千円					有効性 評価	・ 市民のニーズ ・ 事業の効果 ・ 政策との整合性 ・ 事業を廃止の影響 ・ 類似事業との連携 ・ 公平性	生涯学習の受講生は女性を中心に受講しており、男性が受講しやすい講座の開発及び講座の情報発信を行うことで受講生の向上を図る。市民の生涯学習に対する意欲低下、生きがいづくり、仲間づくりの場の喪失につながる。生涯学習講座ではきっかけづくりとなる初心者向けの講座を中心に安価で提供する等、民間企業が提供している講座と重複しないようにしている。各講座一律の受益者負担を設定しており、講座には市民全員が参加することが可能であることから、公平性は保たれている。							
		その他特定財源	千円	21,753	20,461													
		一般財源	千円	1	1	25,362	25,362	25,362									25,362	
		事業費計 (A)	千円	21,754	20,462	25,362	25,362	25,362									25,362	
		所要人員 (年間)	人	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200									0.200	
		人件費概算 (B)	千円	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120									1,120	
		(A) + (B)	千円	22,874	21,582	26,482	26,482	26,482									26,482	
(2) 事業概要																		
事業目的	生涯学習のまちづくりを推進するため、「いつでも」「どこでも」「だれでも」をテーマに、市民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、学んだことを地域社会に還元する生涯学習社会の形成に寄与する。																	
事業内容	生涯学習推進委員会の諮問を受け、NPO志布志生涯学習センターによる生涯学習講座の開設及び学習成果の発表(生涯学習フェスティバル)、広報誌の発行等を委託する事業である。生涯学習推進委員会とは、生涯学習の普及と推進を目的に教育委員会が設置した団体であり、35人以内で委員を委嘱している。																	
開始経緯	官民一体となった生涯学習の推進を目指し、平成3年に生涯学習講座の開設をさわやか生涯学習センターへ移管すると同時に本事業を開始した。平成7年、生涯学習推進委員会を設置し、その執行機関として生涯学習センターを開所した。また、平成25年度からは、生涯学習センターのNPO化に伴い補助事業から委託事業へ変更し、生涯学習推進委員会は諮問機関として位置付けた。																	
実施状況	(1) 委託先：特定非営利活動法人志布志生涯学習センター (2) 公募講座 (10~12回)																	
成果	公募講座を97講座1,290人、短期講座を3講座23人、体験学習を18講座188人が受講した。講座の計画及び実施については、NPO志布志生涯学習センターと各条例公民館主事が連携し、官民一体となった推進体制が確立している。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた生涯学習フェスティバルを4年ぶりに開催し、学習の成果を発表することができた。																	
課題	新規講座の開設に努力しているものの、講座生の固定化及び高齢化に加え、人口減少が続く中で、新規受講生の開拓がさらに難しい状況となっている。																	
		改革改善案		拡充		○ 現状維持		改善		効率化		廃止終了						